

司 式 ローレンス・スパーリンク宣教師

前 奏

奏 楽 五十嵐美代枝姉妹

開 会 招 詞 詩編31編24-25節

* 賛 美 歌 90:1 心を尽くして

こころをつくして御神をほめ称えん。宮にてひれ伏し、御名をほめ歌わん。

主は、いつくしみとまことに富みたまいて、御名と御言葉はいと高きがゆえに。

* 開 会 祈 禱

罪 の 告 白 祈禱書3 罪の告白②

主なる神よ、あなたの御前に背きの罪を告白します。わたしは聖なる戒めに従わず、失われた羊のように迷い出て、思いと言葉と行いにおいて罪を犯しました。しなければならぬことをせず、してはならぬことをして、自分の身に、あなたの怒りと裁きを招きました。憐れみに富んでおられる父よ、罪と過ちを悲しむわたしに憐れみを注いでください。神の独り子である救い主の名によって、わたしを赦してください。聖霊の恵みによって、わたしを新しく生まれ変わらせてください。願わくは今から後、み栄えのために生きる者とならせてください。

主イエス・キリストの御名によって。アーメン。(詩編32、イザヤ53、ローマ7)
罪の赦しの宣言

十 戒 祈禱書4

1. あなたは、わたしのほかに、何者をも神としてはならない。
2. あなたは自分のために刻んだ像を造ってはならない。それにひれ伏してはならない。それに仕えてはならない。
3. あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。主は、み名をみだりに唱える者を、罰しないではおかない。
4. 安息日をおぼえて、これを聖とせよ。
5. あなたの父と母を敬え。
6. あなたは殺してはならない。
7. あなたは姦淫してはならない。
8. あなたは盗んではならない。

9.あなたは隣人りんじんについて偽証ぎしょうしてはならない。

10.あなたは隣人りんじんの家いえをむさぼってはならない。隣人りんじんの妻つま、またすべて隣人りんじんのものをむさぼってはならない。 (出エジプト20、申命記5)

* 賛美歌 95：1 主の愛はわたしをなぐさめ (ピアノ)

つめたいつみのみちを さまよっていたとき 主イエスはあいのみてで わたしをすくわれた。主のあいはわたしをなぐさめ 日々よるこびにみたす。わたしのせいかつはみ手によって日々みちびかれる。 やがてはみくにの家にすみ すばらしいめぐみにあずかるだろう。わたしのせいかつはみ手によって日々みちびかれる。日々みちびかれる。

共同の祈禱 祈禱書40番 新年礼拝

天地創造てんちそうぞうの活いけるまことの神かみさま、大地だいちはあなたによって基もとを据すえられ、天てんはあなたの御手みてのわざを示しめしています。しかも天地てんちが滅ほろびてもあなたはいまし、常つねに変わることなく、あなたの年月としつきは尽つきることがありません。それゆえ、わたしたちはあなたをほめたたえます。天上てんじょうの賛美さんびにわたしたちの声こゑを合あわせ、あらゆる時代じだいのあらゆる場所ばしょの全ての聖徒せいとたちと共ともに、あなたの栄光えいこうを永遠えいえんに誉ほめ讃たたえます。(詩編19、マタイ24、ヘブライ13)

献金 (黒) 教会活動 (赤) 九州伝道 70

今ささぐるそなえものを 主よ きよめて うけたまえ アーメン

聖書朗読 哀歌3章19-33節 (旧約聖書1289頁)

説教・祈禱 「朝ごとに授かる慈しみ」 L. スパーリンク宣教師

* 賛美歌 80：1 人生の海のあらしに (ピアノ)

人生の海の嵐に もまれきしこのみも ふしぎなる神の手によりいのちびろいしぬ。いとしずけき港につき われは今安ろう。救い主イエスの手にある身はいともやすし。

いとしずけき港につき われは今安ろう。救い主イエスの手にある身はいともやすし。

* 主の祈り 祈禱書1

天てんにまします我われらの父ちちよ

願ねがわくは御名みなをあがめさせたまえ

御国みくにを来きたらせたまえ 御心みこころの天てんになるごとく 地ちにもなさせたまえ

我われらの日用にちようの糧かてを 今日きょうも与あたえたまえ

われ つみ おか もの われ ゆる われ つみ ゆる
我らに罪を犯す者を我らが許すごとく 我らの罪をも許したまえ
われ こころ あく すく だ
我らを試みに会わせず 悪より救い出したまえ
くに ちから さか かぎ なんじ
国と力と栄えとは 限りなく汝のものなればなり アーメン。

* 頌 栄 65 父・御子・御霊の
父・御子・御霊の大御神に
ときわにたえせず 御栄えあれ 御栄えあれ アーメン

* 祝 禱
後 奏 (黙禱)

報 告 門脇陽子長老 当番執事：加藤・長尾（那珂・大日南隆
夫）

2021年1月10日 朝ごとに授かる慈しみ（新年礼拝）

ローレンス・スパーリンク（キリスト改革派日本伝道会宣教師）

参照：ハイデルベルク信仰問答問 Q. & A. 9-10、27-28。84、123

中心的主張点：主に望みを置く人には、避けて通れない困難があっても、主の慈しみが必ず豊かに与えられる。

聖書箇所：哀歌3章19-33節（新共同訳聖書、旧約聖書1289頁）

苦汁と欠乏の中で / 貧しくさすらったときのことを決して忘れず、覚えているからこそ / わたしの魂は沈み込んでいても再び心を励まし、なお待ち望む。

主の慈しみは決して絶えない。主の憐れみは決して尽きない。それは朝ごとに新たになる。「あなたの真実はそれほど深い。主こそわたしの受ける分」とわたしの魂は言い / わたしは主を待ち望む。

主に望みを置き尋ね求める魂に / 主は幸いをお与えになる。主の救いを黙して待てば、幸いを得る。若いときに軛を負った人は、幸いを得る。

軛を負わされたなら / 黙して、独り座っているがよい。塵に口をつけよ、望みが見いだせるかもしれない。打つ者に頬を向けよ / 十分に懲らしめを味わえ。

主は、決して / あなたをいつまでも捨て置かれはしない。主の慈しみは深く / 懲らしめでも、また憐れんでくださる。人の子らを苦しめ悩ますことがあっても / それが御心なのではない。

(以上は神のみことばです。主に感謝します。)

序説： 2021年はどんな年になるのでしょうか。2020年は確かに決して繰り返したくありません。人生がああのウィルスによってまるでひっくり返される年でした。しかも、終

息はまだ来ません。2021年はさらに酷くなるだろうかとすら心配します。でも全部がマイナスだったわけではありません。悲しみと困難があったのは確かですが、神様の恵みを味わうこともありました。探しさえすれば、ご自分の御国の民となるように呼びかけてくる神の声が聞こえ、農作物も平年の水準と比べ、99%に達し、祈りが叶えて不思議なほどの癒しも経験しました。詩編42編12節：「なぜうなだれるのか、わたしの魂よ／なぜ呻くのか。神を待ち望め。わたしはなお、告白しよう／「御顔こそ、わたしの救い」と。わたしの神よ。」人間は悪しき行いを続けて、場合によってトラブルに囲まれているような気持ちがあっても、本日の説教の主張点にあるように、「主に望みを置く人には、避けて通れない困難があっても、主の慈しみが必ず豊かに与えられる。」神様の恵みは私たちに十分以上でした。今日 見ようとしている哀歌はこれを鮮やかに示してくれます。

1、哀歌は 主に背いた民が直面した大きな苦しみを証している。

イ、預言者エレミヤの作品がその歴史的背景を示す。「堤防が崩れた！」

ロ、民の想像を絶するほどの苦しみの実態は申命記の予言にある恐ろしい裁きの実現である。

ハ、絶望的状況のただ中に 驚きの希望の言葉：主の恵みによる救いの時が来る！

哀歌という書物に「取扱注意」という札を張るべき文書です。神様から与えられる日々のみ恵みを語ってありますが、嘆き悲しむことが中心にあります。自分たちの主に背いた民が直面した大きな苦しみを証している書物です。

哀歌は預言者エレミヤが非常に丁寧に書き記したイロハ歌です。自分自身の苦しみと孤独になっていた時に行った瞑想を文書化したと思われます。実際に起こった歴史的出来事が背後にあります。これらを例えば、列王記の下21-25章、あるいは歴代誌下33-36章に記録されています。起こってきた悲劇的出来事をどう描写したらよいのでしょうか。例えて言えば、堤防が完全に崩れて、大いなる洪水が流れてきて全てを破壊してしまったぐらいです。バビロン帝国のネブカッドネゼル王の軍勢が侵略してきて、エルサレムとそこにあった神殿を火で焼けて、城壁を完全に取り壊しました。捕虜となった住民は難民となり、連れ去られてしまいました。悲惨を極める状況です。だからこそこの書物を「哀歌」と名付けるわけです。

彼らが遭っているのは想像を絶するほどの苦しみです。けれどもエレミヤは民がこれを自分の行動によって招いてしまったことを指摘し告白します。エレミヤを含めて、すべての預言者たちはこれを予告して、民が悔い改めるように熱心に呼びかけました。聞く耳を持たない民が味わっているのは、主のしもべモーセが予告したとおりのものです。それが申命記28章15節以降にちゃんと書いてありました。そこに書かれたとおりの警告が実現しました。本当に恐ろしい展開です。何百年間もの間神様は忍耐し我慢してきたのですが、その忍耐が限界を迎え、ついにさばきを施すことになったのです。

けれども、不思議なことがあります。哀歌がこの悲劇を語る最中に、驚くべき慰めと希望の言葉が挟まれています。本日の箇所、哀歌3章19-26節がそれです。エレミヤ書にも、この哀歌にも神様の不可思議な慈しみを語っています。救いの時が来る！ 喜びと平和の時が近づいている！ と力強く述べてくれます。

2、歴史を振り返ると、恐ろしいことがたまたま起こることが誰にでもわかる。

- イ、ユダ王国の崩壊に負けないほどの戦争、疫病、苦悩が現れる。
- ロ、自然災害や人手による悲劇がある。身近な耐え難いものもある。
- ハ、創世記2章の注意、第二の戒めの警告を受け止めよう。
- ニ、慰め主、助け主がいなければ...

歴史を学べば誰にでもすぐに分かることですが、恐ろしいことがたまたま起こるのです。それほど昔にさかのぼる必要もありません。ユダ王国の崩壊に負けないほどの戦争、疫病、苦悩が現れます。古代か近代かだけが違います。自然災害や人手による悲劇があり、福島の原因事故、メルtdownのコンビもあります。世界大戦の巨大な規模のものもあれば、個人的レベルで味わう悲劇もあります。病、失業、いじめ、虐待、依存症。個人的レベルのものなら、時には話題にして人に打ち明けをしますが、多くの場合は孤独で黙って静かに我慢しています。恥ずかしい思いがするからでしょうか。要するに、このようなことに関わりのない者は一人もいません。私にも、皆様にもあるのです。

時には「どうして」とか「いつまでですか」と叫び声を出すかもしれません。その時にまず思い出したいのは創世記の2章にある神様のアダムとエバに与えられた忠告、警告です。戒めに背いて不幸を招くのは誰でしょうか。私たち全ての者がそうです。創造主の御心を無視する以上、私たちは皆罪人となって、無に服する存在となってしまいました。10戒を理解すればわかるでしょう。よく略した10戒を唱えています、第2戒の全体をみるべきです。出エジプト記20章4-6節に第2があります。10戒の中で分量的に一番長いですね。次の通りです。「あなたはいかなる像も造ってはならない。上は天にあり、下は地にあり、また地の下の水の中にある、いかなるものの形も造ってはならない。あなたはそれらに向かってひれ伏したり、それらに仕えたりしてはならない。わたしは主、あなたの神。わたしは熱情の神である。わたしを否む者には、父祖の罪を子孫に三代、四代までも問うが、わたしを愛し、わたしの戒めを守る者には、幾千代にも及ぶ慈しみを与える。」熱情の神、これは神様ご自身の自己紹介です。警告が見過ごせないほどはっきりしています。けれども、私たちは至る所に、家の内外にあるものに対して手を合わせたり、頭を下げたり、先祖にあるいは偶像に仕える人の姿を当たり前のように見えています。生ける全能の主を背を向けて、ありとあらゆるものをいわゆる「神」とします。ユダ王国の人々に負けず、主の怒りとさばきを招くのです。厳しい言葉で、申し訳ありません。「神は愛なりと書いてあるのではないか。そんな怒ったりするお方ではないでしょ」と考えたいです。しかし聖書では、また歴史では悪がそのままほっておかれることなく、主が必ずさばいてくださると教えてくれます。

私たちをお造りなされた方が私たちの敵となることより恐ろしいことがあるのでしょうか。けれども、福音があります。本当にグッドニュースです。慰めの言葉があります。絶望に直面する私たちに希望を与える言葉です。たとえ、最も悲惨な状態になった私たちであってもお救いくださるご計画が神にあるのです。救う計画。エレミヤ書30章10-11a (1232ページ) はこう言います：「わたしの僕ヤコブよ、恐れるなど／主は言われる。イスラエルよ、おののくな。見よ、わたしはお前を遠い地から／お前の子孫を捕囚の地から救い出す。ヤコ

ブは帰って来て、安らかに住む。彼らを脅かす者はいない。わたしがお前と共にいて救うと／主は言われる。」 エレミヤ書31章3節（1234ページ）はこうです：「遠くから、主はわたしに現れた。わたしは、とこしえの愛をもってあなたを愛し／変わることなく慈しみを注ぐ。」 また、哀歌3章31-32節（1290ページ）も有名です：「主は、決して／あなたをいつまでも捨て置かれはしない。主の慈しみは深く／懲らしめても、また憐れんでくださる。」 これらは大昔にユダに与えられた言葉ですが、今日の私たちにも与えられています。

3、主の慈しみとはどんなものだろうか。

- イ、苦しみを耐え忍ぶ力
- ロ、苦しみによって起こる鍛錬
- ハ、敵を抑え、克服する
- ニ、罪の赦し、死からの救い、豊かな回復

これらの聖書箇所が語る 主が朝ごとに施してくださる「慈しみ」とはどんなものでしょうか。

主は困難をすぐに取り去られないかもしれませんが。コロナウィルスが突然消えてしまうことはないでしょう。国々は保持している恐ろしい武装を捨てて、たちまち いただいている敵意を捨てることがないでしょう。けれども主はその民にこれらに伴う苦しみに耐える力を備えてくださいます。

私たちが直面するものが私たちの滅びとなるのではなく、私たちの成長、つまり、私たちの懲らしめ、鍛錬に役に立つと約束してくださいます。

主は私たちの敵を克服してくださいます。私たちの巧みや能力によってではありません。ご自身の力によってです。私たちは自分に頼り、自分の知恵や学問、自分の技術を頼りに救われることと信じ、例えば、ワクシーンを開発します。素晴らしいことです。けれども、悔い改めの様子はありません。主に頼りながらこれらに勤める方もいるでしょうけれども、それよりもむしろ人間おプライドや誇りが目立ちます。けれども結果的に悪魔とその部下の勢力を徹底的に敗北させて龍の頭を砕くのは主以外に何者ありません。

また、主自らその大いなる恵みによって罪の赦しの道、ご自分と和解をする道を備えてくださいます。それは神のひとり子の犠牲によります。最終の敵である死を滅ぼし、私たちを再び生かしてくださいます。これら全ては主がその民に注いで下さる恵み、常に備えてくださる慈しみです。エレミヤが経験したとおり、今日の私たちもただいまいただけます。たとえ、苦しみと試練のただ中であってもできます。もう一度聴きましょう。哀歌3章23-24節です。「主の慈しみは決して絶えない。主の憐れみは決して尽きない。それは朝ごとに新たになる。『あなたの真実それほど深い。主こそわたしの受ける分』とわたしの魂は言い／わたしは主を待ち望む。」 これこそが救いの道です。

4、まだ実現しないことを信じて期待して待ち望もう。

- イ、主の永遠の愛によって困難を乗り越える。
- ロ、エレミヤの教訓：悔い改めて、主の慈しみを信じる。

エレミヤの言葉を読んでも、この説教を聞いても、心の中で次のような思いがあるかもしれません。「私を感じている現実と違う。本当なのでしょうか。」

使徒パウロがこのようなことについて次のように書きました。ローマの信徒への手紙8章24b-25節：「見えるものに対する希望は希望ではありません。現に見ているものをだれがなお望むでしょうか。わたしたちは、目に見えないものを望んでいるなら、忍耐して待ち望むのです。」イエス様はまた、トマスにこう言いました。「見ないで信じる人は幸いです。」このような信仰を持って待ち、完全な救いを期待します。そして待っている間、主が約束してくださった日々の恵み、絶えることのない慈しみをいただきます。

エレミヤから学ぶ最も大切なレッスンは次の通りです。「罪と背きを悔い改めて、あなたを救う神の恵みを信じなさい。」これが聖書全体に一貫して与えられている救いの福音です。

決論：「世には確かなものが死と税金のみだ。」しかし、私たちが期待し目指すのは正義と平和のある新しくされた世である。

アメリカの憲法を定める会議で憲法案を採決して著名をしたベンジャミン・フランクリンは次のように話しました。「この憲法はまともにできているので、長く残るでしょう。しかし、この世においていつでも必ず残ることは二つしかありません。それは死と税金です。」半分冗談でそう話したのです。けれども、死と税金も廃れることになります。神様の恵みによってもっとしっかりした希望が私たちにあります。それはすべての苦しみに終りを告げる、今も実現しようとしています神の国です。それは永遠の正義と平和をもたらします。その時に信じる私たちの一切の苦しみが終わる、自分の目で、私たちが豊かな救いに導き入れ、終わることのない愛を見ることになります。これがいつまでも確実に残るのです。信じなさい！そうすれば救われます。アーメン。

祈禱：一切を支配しておられる永遠の主なる神様、この2021年もあなたの御手にあります。あなたを信じる者にいつまでも残る慈しみがありません。あなたを礼拝し、御ことばに聞くために参りました。けれども、私たちに弱さと疑いがあります。罪もまだ残っています。それゆえ、あなたのさらなる憐れみをな願っています。どうか、あなたの愛を見る心の目をください。今も苦しみの真っ最中にいる者をお救いください。とりわけ、あなたの正義と平和の御国が来ますように祈り願います。イエス様に救いがあることを述べ伝え続けることによって、その御国を来たらせる あなたの器としてください。イエス様の御名によってお祈り致します。アーメン。

「苦難の中から主に助けを求めて叫ぶと／主は彼らを苦しみから導き出された。主は嵐に働きかけて沈黙させられたので／波はおさまった。彼らは波が静まったので喜び祝い／望みの港に導かれて行った。主に感謝せよ。主は慈しみ深く／人の子らに驚くべき御業を成し遂げられる。」